

第 633 回：日本人の私が英語を話せるようになるまで パート 1 (MK)

先日開催した、英語学習法をテーマにしたトークイベント『This is how I became bilingual』に参加してくださった皆さん、お忙しい中、足を運んでいただきありがとうございます。多くの方にご参加いただけて、とてもうれしかったです^^

イベント後には「非常に参考になった」という感想もいただき、私自身にとっても英語学習について改めて考える良い機会となりました。そこで、LA 通信でも今後 3 回にわたり、私なりの英語学習法についてお話ししたいと思います。

今回はそのシリーズの第 1 回として、私がこれまで英語学習のモチベーションをどのように維持してきたのかについてお話しします。

突然ですが、皆さんが英語を勉強する理由は何ですか？先日のトークイベントでは、「外国の人と話したいから」「留学に行きたいから」といった理由を挙げる人が多かったです。

実は、人気留学先の交換留学枠や「トビタテ！留学 JAPAN」などの留学制度は競争率が年々あがっている傾向があり、今年度の「トビタテ！」の倍率は約 5.3 倍でした。また、留学先によっては一定の語学力が求められることもあります。そのため、このような機会を得て希望の留学先に行くためには、留学前からある程度の英語力を身に付けておくことが有利になることがあります。そのため、このような理由で英語学習に取り組んでいる人も少なくないのではないのでしょうか。そうです、私もその一人です。

私はこれまで、5 か国に留学しました。その中には、英語力を問う厳しい審査を通過して実現した留学もあります。

留学に行くと、毎日英語を使うため自然と英語力は伸びていきます。一方で、自分の英語のできなさを痛感することもあります(かなり話せるようになった今でも、「ネイティブには敵わない」と毎回落ち込みます)。それで、帰国後、「もっと成長したい」「もう一度挑戦したい」と思い、また英語を勉強します。そして再びチャンスがあれば応募する(選考で有利になれるようにさらに英語を勉強する)。このような繰り返しによって、私は英語力を向上させてきました。

とはいえ、日程や費用の面ですぐに留学に行くことが難しいときもあると思います。そういうときは、自分の中で何か目標や「イベント」を設定してみるのはいかがでしょうか？例えば、資格の試験を受ける、英語の映画を見に行く、外国人の知り合いとランチに行く、などがおすすめです。そういう「イベント」を決めたら、それに向けて自分なりに準備をして、終わったらきちんと振り返って次の学習計画を立てる。そのようなサイクルを繰り返すと、メリハリをつけながら英語学習を続けられるようになると思います(実際に私も留学に行けない時期はそうしていました)。

次回以降では、そのようにしてやる気が上がった時に、具体的に私がしてきたことをお話したいと思います。